

開催日 2024年7月23日(火)

出席者:山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題(審議番組): RADIO. RADIO. With George Williams

放送日時 : 2024年 8月30日(金) 19:00-20:55

DJ : George Williams

会社からの説明

1週間の音楽・エンタメニュースから関連する楽曲を届けるほか、話題のアーティストを迎えてのインタビューやゲスト選曲、時にはスタジオライブもオンエアするなど、週末への気分が高まる金曜の夜に、感情を揺さぶる新旧の名曲たちを、ジョージ・ウィリアムズの音楽愛に満ちたトークで紹介していく2時間のライブプログラムです。

今回は、日本時間8月27日(火)16時に発表され、世界中の音楽ファンが反応した「伝説のロックバンド Oasisの再結成」のニュースを受け、この喜びをリスナーと分かち合うべく、番組全編にわたり、Oasis特集を急遽企画しました。Oasisを愛してやまない人。Oasisと接点がなかった人。Oasisをこれから知りたい人…。番組を聴き終えた全員が、聴く前よりもOasisを好きになってもらうことを目標に、構成をしました。

委員からの意見・感想

審議委員A

音楽の長尺番組といえば生放送。そして、突破力のあるDJでオーセンティックな作りが良く、ジョージの知識とキャリアに説得力があった。演出面では、バリンガルDJが同時通訳し、全てを通訳しているわけではなかったが、それがinterfmらしさも良かった。大特集はどうかと思ったが、オアシスのようなビッグバンド、かつタイムリーであればアリだと思った。

選曲も良かった。鉄板曲だけでなく、シングルB面も織り交ぜており、またニックを繋いでくれたSAHAJi(サハジ)が出演したのも深みが出て良かった。

番組PRIに関して言えば、番組の公式Xの投稿内容が良かった。

一方で残念な点としては、これだけの大きな特集をするのであれば、例えば、親和性があるinterfmのプログラムや、フォロワーを持っているDJに手伝ってもらうなど、前編りをもっとやるべきだった。

審議委員B

リスナーとして楽しませて頂き、2回聞いた。

なかなか2時間で1アーティストの特集の実施に踏み切るのは難しいと思いますが、他の回も聞いた上で、この特集回が一番良く、ジョージ含め、スタッフみんなの熱意が伝わってきた。ジョージは、「どんな台本で喋っているんだろう」と興味を持ってしまうくらい予定調和では無いので、絶対生でやるべきラジオDJだと思う。話の着地を敢えて曖昧にして、結論をリスナーに委ねるという、まさに言葉を音で表現するところを、改めて勉強させてもらった。2時間では物足りないくらいの放送回だった。

審議委員C

英語と日本語が混ざっているinterfmらしい放送で、英語の歌詞を日本語で紹介してくれるのが良かった。ニックの話が面白かった。有名人本人からではなく、エンジニアだからこそ知っている裏側の話が聞けるのは、ラジオならではの良かった。

あえて反省点をあげるとすると、番組名「RADIO. RADIO.」は一般名詞を重ねているので、検索しても出てきづらい。バズるチャンスを逃している。造語など、まだ無い言葉の方が良いと思う。

審議委員D

素晴らしい2時間の特集だった。27日の発表からどういうスケジュール感で動いたのか、プロの仕事に感動した。ニックのインタビューで出てきた兄弟喧嘩のリアルな話などに、スタジオでスタッフが手を叩いて笑っている生放送感も面白かった。「昔の自分と今の自分に出会えるのが音楽の力だ」という最後のジョージの言葉が素晴らしかった。

Instagramなどよりも、interfmのYouTubeショートが安定して見られているので、YouTubeで音楽や言葉の断片を若い世代に広めていく施策をやってほしい。

審議委員E

久しぶりに聞いていて楽しい番組だった。

何より、作り手が楽しんで作っているのが伝わってきたのが良かった。出演者と作り手が一体となっているのを感じた。ジョージのインタビューが聞きやすく、その場で伝わりやすい言葉を選んでいた。

interfmらしい、よくここまで攻めたなと感じたと同時に、次への期待を抱いたので、これを越えるのが大変。次の2時間特集に期待している。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上